

教育長室からのお知らせ No. 96（令和5年7月）

教育長 田中 庸寛



7月に入り、梅雨明けが待たれる季節となりました。暑さに負けない体づくりで、本格的な夏の到来に備えましょう。

3週間後には夏休みに入ります。子どもたちは心待ちにしていることと思います。子どもたちには、夏休みに生活リズムや学習リズムが大きく乱れることがないように指導するとともに、旅行やレジャー施設等における事件・事故を防ぐため、子どもたちが自らの命を守るために危険を回避できるよう、安全指導に努めてまいります。教職員の豊かな経験が子どもたちの学びを豊かにすると考えます。教職員は、子どもたちが興味関心の幅を広げられるよう、様々な機会を捉えて自己の成長につながるような挑戦をし、人間性を育てまいります。

さて、先月、新たな教育振興基本計画（令和5年度から令和9年度まで）が閣議決定されました。その中で、「学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進」が基本施策の1つとして掲げられています。本市では働き方改革の全校一律の取組として、夏季休業中の閉庁日の設定などを行っていますが、市内の学校独自の取組の一例として、教職員の休憩時間を明確に位置付けた事例をご紹介します。この学校では、勤務時間のうち、15時10分から15時55分までを休憩時間として位置づけ、職員会議や打ち合わせを入れないようにしています。この取組は3年目になります。教職員一人一人が時間の使い方を意識した行動をとるようになり、会議運営の効率化が図られるなど、一定の効果がみられました。ただ、休憩時間を確保するために他のところにしわ寄せがいく懸念があるため、十分に注意して運用しているところです。教育の質の確保のため、教職員の心身の健康保持に努めてまいります。

また、先の6月市議会定例会において、来年1月に予定している「二十歳の集い」を二部制にするための補正予算が承認されました。これは、今年1月に行った「二十歳の集い」において、当初の見込みを超えた来場者があったこと、また、新型コロナウイルス感染症の対応が変更になったため、今後の「二十歳の集い」では、さらに多くの来場者が見込まれていることへの対応です。本行事には、多くの教育委員会事務局等職員が携わるため、会場で教え子との再会が叶った教職員もおります。そのような微笑ましい様子を見るとき、教職という仕事の魅力を改めて感じるのです。子どもたちが豊かで幸せな人生を歩めるよう、今、目の前にいる子どもたちが20歳になる頃の社会を見据えた授業を展開してまいります。